

2022年  
6月

なまえ



---

## 1 (水)

すると皆が<sup>みな</sup>聖<sup>せい</sup>霊<sup>れい</sup>に満<sup>み</sup>たされ、御<sup>み</sup>霊<sup>たま</sup>が語<sup>かた</sup>らせるままに、

他<sup>た</sup>国<sup>こく</sup>のいろい<sup>ろ</sup>ろなこ<sup>と</sup>ばで話<sup>はな</sup>し始<sup>はじ</sup>めた。 使徒2:4

---

## 2 (木)

このイエスを、神<sup>かみ</sup>はよ<sup>み</sup>がえ<sup>ら</sup>せました。私<sup>わたし</sup>たちは<sup>みな</sup>、そのこ<sup>の</sup>の

証<sup>しょう</sup>人<sup>にん</sup>です。で<sup>す</sup>か<sup>ら</sup>、神<sup>かみ</sup>の右<sup>みぎ</sup>に上<sup>あ</sup>げ<sup>ら</sup>れた<sup>イエス</sup>が、約<sup>やく</sup>束<sup>そく</sup>され<sup>た</sup>聖<sup>せい</sup>霊<sup>れい</sup>を

御<sup>み</sup>父<sup>ちち</sup>から受<sup>う</sup>けて、今<sup>いま</sup>あ<sup>な</sup>たが<sup>た</sup>が<sup>め</sup>目<sup>め</sup>にし、耳<sup>みみ</sup>に<sup>し</sup>て<sup>い</sup>る

聖<sup>せい</sup>霊<sup>れい</sup>を<sup>そ</sup>そ<sup>そ</sup>注<sup>つ</sup>いで<sup>く</sup>だ<sup>さ</sup>つ<sup>た</sup>の<sup>で</sup>す。 使徒2:32-33

---

## 3 (金)

彼<sup>かれ</sup>のこ<sup>と</sup>ばを<sup>う</sup>け<sup>い</sup>れた<sup>人</sup>々<sup>は</sup>バプテスマ<sup>を</sup>受<sup>う</sup>けた。

その日<sup>ひ</sup>、三<sup>さん</sup>千<sup>せん</sup>人<sup>にん</sup>ほ<sup>ど</sup>が<sup>な</sup>か<sup>ま</sup>く<sup>わ</sup>仲<sup>な</sup>間<sup>ま</sup>に<sup>か</sup>え<sup>ら</sup>れた。

使徒2:41

---

## 4 (土)

で<sup>す</sup>か<sup>ら</sup>、あ<sup>な</sup>たが<sup>た</sup>に<sup>つぎ</sup>次<sup>ぎ</sup>の<sup>こ</sup>とを<sup>おし</sup>教<sup>お</sup>えて<sup>お</sup>き<sup>ま</sup>す。神<sup>かみ</sup>の御<sup>み</sup>霊<sup>たま</sup>によ<sup>つ</sup>て

語<sup>かた</sup>る<sup>もの</sup>者<sup>は</sup>だ<sup>れ</sup>も「イエスは、の<sup>い</sup>ろ<sup>わ</sup>れ<sup>よ</sup>」と<sup>い</sup>う<sup>こ</sup>とは<sup>な</sup>く、ま<sup>た</sup>、聖<sup>せい</sup>霊<sup>れい</sup>によ<sup>る</sup>

の<sup>で</sup>な<sup>け</sup>れ<sup>ば</sup>、だ<sup>れ</sup>も「イエスは<sup>しゅ</sup>主<sup>です</sup>」と<sup>い</sup>う<sup>こ</sup>とは<sup>で</sup>き<sup>ま</sup>せ<sup>ん</sup>。

---

I コリント12:3

---

## 5 (日)

しんじゃ ひとびと ひと いっさい もの きょうゆう  
信者となった人々はみな一つになって、一切の物を共有し、

ざいさん しょうぶつ う ひつよう おう みな ぶんばい  
財産や所有物を売っては、それぞれの必要に応じて、皆に分配していた。

まいにちこころ ひと みや あつ いえいえ さ よろこ まごころ  
そして、毎日心を一つにして宮に集まり、家々でパンを裂き、喜びと真心を

しょくじ かみ さんび たみぜんたい こうい も  
もって食事をともにし、神を賛美し、民全体から好意を持たれていた。

しゅ まいにち すく ひとびと くわ ひと  
主は毎日、救われる人々を加えて一つにしてくださいました。

使徒2:44-47

---

## 6 (月)

かた いがい すく てん した みな  
この方以外には、だれによっても救いはありません。天の下でこの御名の

わたし すく な にんげん あた  
ほかに、私たちが救われるべき名は人間に与えられていないからです。」

使徒4:12

---

## 7 (火)

すると、ペテロは言った。「金銀は私にはない。しかし、私にあるものを

あげよう。ナザレのイエス・キリストの名によって立ち上がり、歩きなさい。」

使徒3:6

---

## 8 (水)

かれ みぎで と た かれ あし  
そして彼の右手を取って立たせた。するとたちまち、彼の足とくるぶしが

つよ おど あ た ある だ ある  
強くなり、躍り上がって立ち、歩き出した。そして、歩いたり

---

と は 飛 び 跳 ね たり し な が ら、 神 を 賛 美 し つ つ 二 人 と 一 緒 に 宮 に 入 っ て 行 っ た。

使徒3:7-8

9 (木)

い の ち の 君 を 殺 し た の で す。 し か し、 神 は こ の イ エ ス を 死 者 の 中 か ら

よ み が え ら せ ま し た。 私 た ち は そ の こ と の 証 人 で す。 こ の イ エ ス の 名 が、

そ の 名 を 信 じ る 信 仰 の ゆ え に、 あ な た が た が 今 見 て 知 っ て い る こ の 人 を 強 く

し ま し た。 イ エ ス に よ っ て 与 え ら れ る 信 仰 が、 こ の 人 を 皆 さ ん の 前 で、

こ の と お り 完 全 な か ら だ に し た の で す。 使徒3:15-16

10 (金)

「主の御名を呼び求める者はみな救われる」のです。

ローマ10:13

11 (土)

私たちの主イエス・キリストの父である神がほめたたえられますように。

神は、ご自分の大きなあわれみのゆえに、イエス・キリストが死者の中から

よみがえられたことによって、私たちを新しく生まれさせ、

生ける望みを持たせてくださいました。

I ペテロ1:3

---

## 12 (日)

それは、イエスの名<sup>な</sup>によって、天<sup>てん</sup>にあるもの、地<sup>ち</sup>にあるもの、地<sup>ち</sup>の下<sup>した</sup>にあるもののすべてが膝<sup>ひざ</sup>をかがめ、すべての舌<sup>した</sup>が「イエス・キリストは主<sup>しゅ</sup>です」と告白<sup>こくはく</sup>して、父<sup>ちち</sup>なる神<sup>かみ</sup>に栄光<sup>えいこう</sup>を帰<sup>き</sup>するためです。

ピリピ2:10-11

---

## 13 (月)

まことに、まことに、あなたがたに言<sup>い</sup>います。一粒<sup>ひとつぶ</sup>の麦<sup>むぎ</sup>は、地<sup>ち</sup>に落<sup>お</sup>ちて死<sup>し</sup>ななければ、一粒<sup>ひとつぶ</sup>のままです。しかし、死<sup>し</sup>ぬなら、豊<sup>ゆた</sup>かな実<sup>み</sup>を結<sup>むす</sup>びます。

ヨハネ12:24

---

## 14 (火)

この提案<sup>ていあん</sup>を一同<sup>いちどう</sup>はみな喜<sup>よろこ</sup>んで受け入<sup>う</sup>れた。そして彼<sup>かれ</sup>らは、信<sup>しんこう</sup>仰<sup>う</sup>と聖<sup>せい</sup>霊<sup>れい</sup>に満<sup>み</sup>ちた人<sup>ひと</sup>ステパノ、およびピリポ、プロコロ、ニカノル、ティモン、パルメナ、そしてアンティオキア<sup>かいしゅうしゃ</sup>の改<sup>えら</sup>宗<sup>しん</sup>者<sup>と</sup>ニコラオを選び、この人<sup>ひと</sup>たちを使<sup>し</sup>徒<sup>と</sup>たちの前<sup>まえ</sup>に立<sup>た</sup>たせた。使<sup>し</sup>徒<sup>と</sup>たちは祈<sup>いの</sup>って、彼<sup>かれ</sup>らの上<sup>うえ</sup>に手<sup>て</sup>を置<sup>お</sup>いた。

使徒6:5-6

---



---

## 15 (水)

しかし、<sup>せいれい</sup>聖霊に<sup>み</sup>満たされ、じっと<sup>てん</sup>天を見つめていたステパノは、

<sup>かみ</sup>神の<sup>えいこう</sup>栄光と<sup>かみ</sup>神の<sup>みぎ</sup>右に立っておられる<sup>た</sup>イエスを見て、「<sup>み</sup>見なさい。

<sup>てん</sup>天が開けて、<sup>あ</sup>人の子が<sup>ひと</sup>神の<sup>こ</sup>右に立っておられるのが<sup>み</sup>見えます」と言った。<sup>い</sup>

使徒7:55-56

---

## 16 (木)

こうして<sup>かれ</sup>彼らがステパノに<sup>いし</sup>石を投げつけていると、ステパノは<sup>しゅ</sup>主を呼んで

<sup>い</sup>言った。「<sup>しゅ</sup>主イエスよ、<sup>わたし</sup>私の<sup>れい</sup>霊をお<sup>う</sup>受けください。」そして、ひざまずいて

<sup>おおごえ</sup>大声で叫んだ。「<sup>しゅ</sup>主よ、この<sup>つみ</sup>罪を<sup>かれ</sup>彼らに<sup>お</sup>負わせないでください。」

こう<sup>い</sup>言って、<sup>かれ</sup>彼は<sup>ねむ</sup>眠りについた。 使徒7:59-60

---

## 17 (金)

<sup>ぎ</sup>義のために<sup>はくがい</sup>迫害されている<sup>もの</sup>者は<sup>さいわ</sup>幸いです。<sup>てん</sup>天の<sup>みくに</sup>御国は

その<sup>ひと</sup>人たちの<sup>もの</sup>ものだからです。 マタイ15:10

---

## 18 (土)

しかし、わたしはあなたが<sup>い</sup>たに言います。<sup>じぶん</sup>自分の<sup>てき</sup>敵を<sup>あい</sup>愛し、

<sup>じぶん</sup>自分を<sup>はくがい</sup>迫害する<sup>もの</sup>者のために<sup>いの</sup>祈りなさい。

マタイ15:44

---

---

19 (日)

みことばを<sup>の つた</sup>宣べ伝えなさい。時が<sup>とき</sup>良<sup>よ</sup>くても悪<sup>わる</sup>くてもしっかりやりなさい。

忍耐<sup>にんたい</sup>の限<sup>かぎ</sup>りを<sup>つ</sup>尽くし、絶<sup>た</sup>えず教<sup>おし</sup>えながら、責<sup>せ</sup>め、戒<sup>いまし</sup>め、また勸<sup>すす</sup>めなさい。

Ⅱテモテ4:2

---

21 (火)

ピリポはサマリアの<sup>まち</sup>町<sup>くだ</sup>に下<sup>い</sup>って行<sup>ひとびと</sup>き、人<sup>の</sup>々にキリスト<sup>の つた</sup>を宣<sup>つた</sup>べ伝<sup>つた</sup>えた。

群衆<sup>ぐんしゅう</sup>はピリポ<sup>はなし</sup>の<sup>き</sup>話<sup>かれ</sup>を聞<sup>おこな</sup>き、彼<sup>み</sup>が行<sup>かれ</sup>って<sup>かた</sup>いたし<sup>かた</sup>るし<sup>かた</sup>を見て、彼<sup>かた</sup>が語<sup>かた</sup>る<sup>かた</sup>ことに、

そろって関<sup>かんしん</sup>心<sup>いだ</sup>を抱<sup>けが</sup>くよう<sup>れい</sup>になった。汚<sup>おお</sup>れた<sup>ひと</sup>霊<sup>ひと</sup>につか<sup>おお</sup>れた<sup>ひと</sup>多<sup>ひと</sup>くの<sup>おお</sup>人<sup>ひと</sup>たち<sup>ひと</sup>から、

その<sup>れい</sup>霊<sup>おお</sup>が<sup>おお</sup>大<sup>さけ</sup>声<sup>さけ</sup>で叫<sup>で</sup>び<sup>い</sup>ながら出<sup>ちゅうぶ</sup>て<sup>ひと</sup>行<sup>あし</sup>き、中<sup>ふ</sup>風<sup>じゅう</sup>の人<sup>ひと</sup>や足<sup>ふ</sup>の<sup>じゅう</sup>不<sup>ひと</sup>自<sup>ひと</sup>由<sup>ひと</sup>な<sup>ひと</sup>人<sup>ひと</sup>が

数<sup>かず</sup>多<sup>おお</sup>く癒<sup>い</sup>や<sup>い</sup>された<sup>い</sup>から<sup>い</sup>である。その<sup>まち</sup>町<sup>おお</sup>には、大<sup>よほ</sup>きな<sup>よほ</sup>喜<sup>よほ</sup>び<sup>よほ</sup>があ<sup>よほ</sup>った。

使徒8:5-8

---

22 (水)

さて、主<sup>しゅ</sup>の<sup>つか</sup>使<sup>つか</sup>いが<sup>い</sup>ピリポ<sup>い</sup>に<sup>い</sup>言<sup>た</sup>った。「立<sup>た</sup>って<sup>みなみ</sup>南<sup>い</sup>へ<sup>い</sup>行<sup>い</sup>き、エルサレム<sup>い</sup>から

ガザ<sup>くだ</sup>に<sup>みち</sup>下<sup>で</sup>る<sup>で</sup>道<sup>みち</sup>に出<sup>あらの</sup>な<sup>あらの</sup>さい。」そ<sup>あらの</sup>こ<sup>あらの</sup>は<sup>あらの</sup>荒<sup>あらの</sup>野<sup>あらの</sup>で<sup>あらの</sup>ある。そ<sup>あらの</sup>こ<sup>あらの</sup>で、ピリポ<sup>た</sup>は<sup>た</sup>立<sup>た</sup>って

出<sup>で</sup>か<sup>で</sup>けた。す<sup>み</sup>ると見<sup>み</sup>よ。そ<sup>じん</sup>こ<sup>じん</sup>に、エチオピア<sup>じん</sup>人<sup>じん</sup>の<sup>じょう</sup>女<sup>じょう</sup>王<sup>じょう</sup>カンダケ<sup>じょう</sup>の<sup>こう</sup>高<sup>こう</sup>官<sup>かん</sup>で、

女<sup>じょう</sup>王<sup>じょう</sup>の<sup>ぜん</sup>全<sup>ぜん</sup>財<sup>ざい</sup>産<sup>さん</sup>を<sup>かん</sup>管<sup>かん</sup>理<sup>り</sup>して<sup>かん</sup>いた<sup>かん</sup>る<sup>かん</sup>宦<sup>かん</sup>官<sup>かん</sup>の<sup>じん</sup>エチオピア<sup>じん</sup>人<sup>じん</sup>が<sup>じん</sup>いた。

彼<sup>かれ</sup>は<sup>れい</sup>礼<sup>れい</sup>拜<sup>はい</sup>の<sup>の</sup>た<sup>の</sup>め<sup>の</sup>エルサレム<sup>の</sup>に<sup>の</sup>上<sup>の</sup>り

使徒8:26-27

---

## 23 (木)

そこでピリポが走って行くと、預言者イザヤの書を読んでいるのが

聞こえたので、「あなたは、読んでいることがわかりますか」と言った。

するとその人は、「導いてくれる人がいなければ、どうして分かるでしょう

か」と答えた。そして、馬車に乗って一緒に座るよう、ピリポに頼んだ。

使徒8:30-31

---

## 24 (金)

ピリポは口を開き、この聖書の箇所から始めて、

イエスの福音を彼に伝えた。

使徒8:35

---

## 25 (土)

二人が水から上がって来たとき、主の霊がピリポを連れ去られた。

宦官はもはやピリポを見ることはなかったが、喜びながら帰って行った。

使徒8:39

---



---

26 (日)

また、<sup>わたし</sup>私のためにも、<sup>わたし</sup>私が<sup>くち</sup>口を開くときに<sup>ひら</sup>語るべきことばが<sup>かた</sup>与えられて、<sup>あた</sup>

<sup>ふくいん</sup>福音の<sup>おくぎ</sup>奥義を<sup>だいたん</sup>大胆に<sup>し</sup>知らせることができるよう、<sup>いの</sup>祈ってください。

エペソ6:19

---

28 (火)

<sup>かみ</sup>神は<sup>わたし</sup>私たちに、<sup>おくびょう</sup>臆病の<sup>れい</sup>霊ではなく、<sup>ちから</sup>力と<sup>あい</sup>愛と<sup>つつし</sup>慎みの<sup>れい</sup>霊を

<sup>あた</sup>与えてくださいました。

Ⅱテモテ1:7

---

27～30日のみことばは都合上、次号に掲載します。